

# ミライアル株式会社

## 2015年1月期 第3四半期 決算説明資料

2014年12月8日

2015年1月期 第3四半期 決算概要 .....	p. 1
2015年1月期 業績予想 .....	p. 6
経営戦略 .....	p. 8





# 2015年1月期 第3四半期決算概要 ～ 1. 売上高/経常利益の比較

## ■ 決算概要

**売上高: 7,148百万円 (前年同期比 18.9 %増)**

プラスチック成形事業(当社グループ主力事業)の主要販売先である半導体業界は、スマートフォンやタブレットを中心としたモバイル分野の需要が伸長し、シリコンウエハの出荷が増加しました。

当事業の主力製品である300mmシリコンウエハ出荷容器「FOSB」も、上期において、ウエハの好況を反映し、出荷が増加しました。

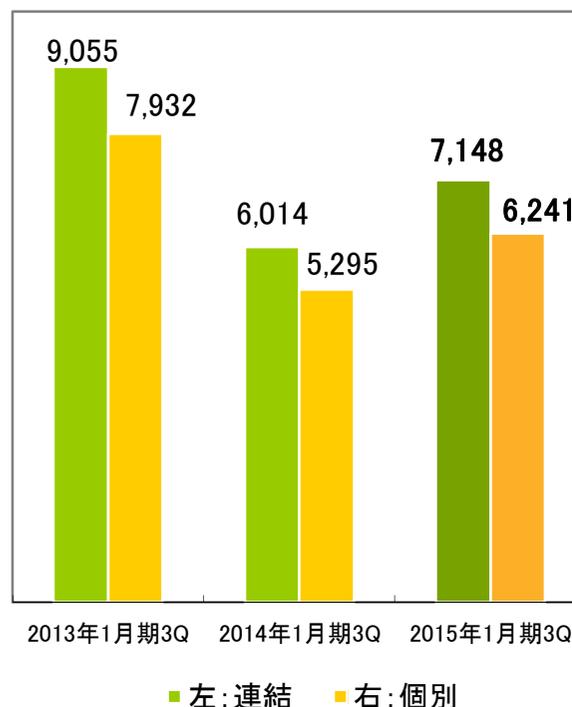
また、当第3四半期においても、顧客の生産調整による影響は想定より軽微に留まり、堅調に推移しました。

**経常利益: 1,019百万円 (前年同期比 90.4 %増)**

主力製品「FOSB」の想定を上回る出荷数量の増加に加え、減価償却の進行があったこと、また営業外収益として保険解約返戻金収入やメガソーラーによる売電収入、子会社に関する補助金収入等の影響もあり、経常利益は前年同期比で増益となりました。

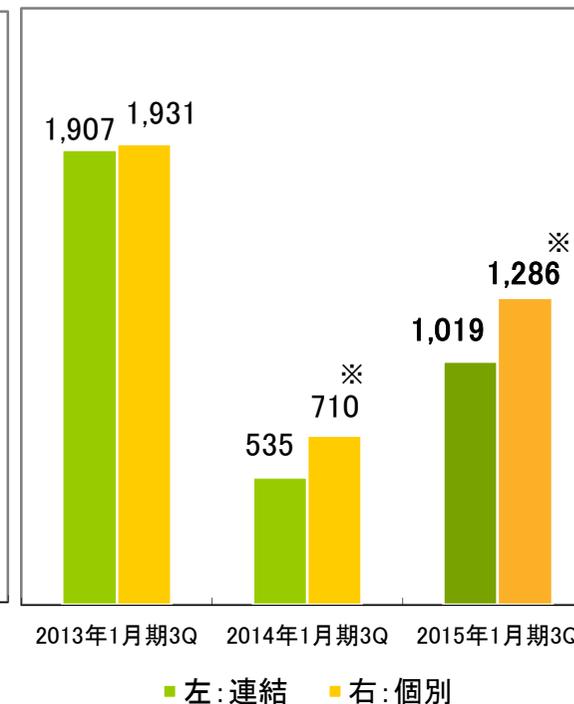
### 売上高

(単位: 百万円)



### 経常利益

(単位: 百万円)



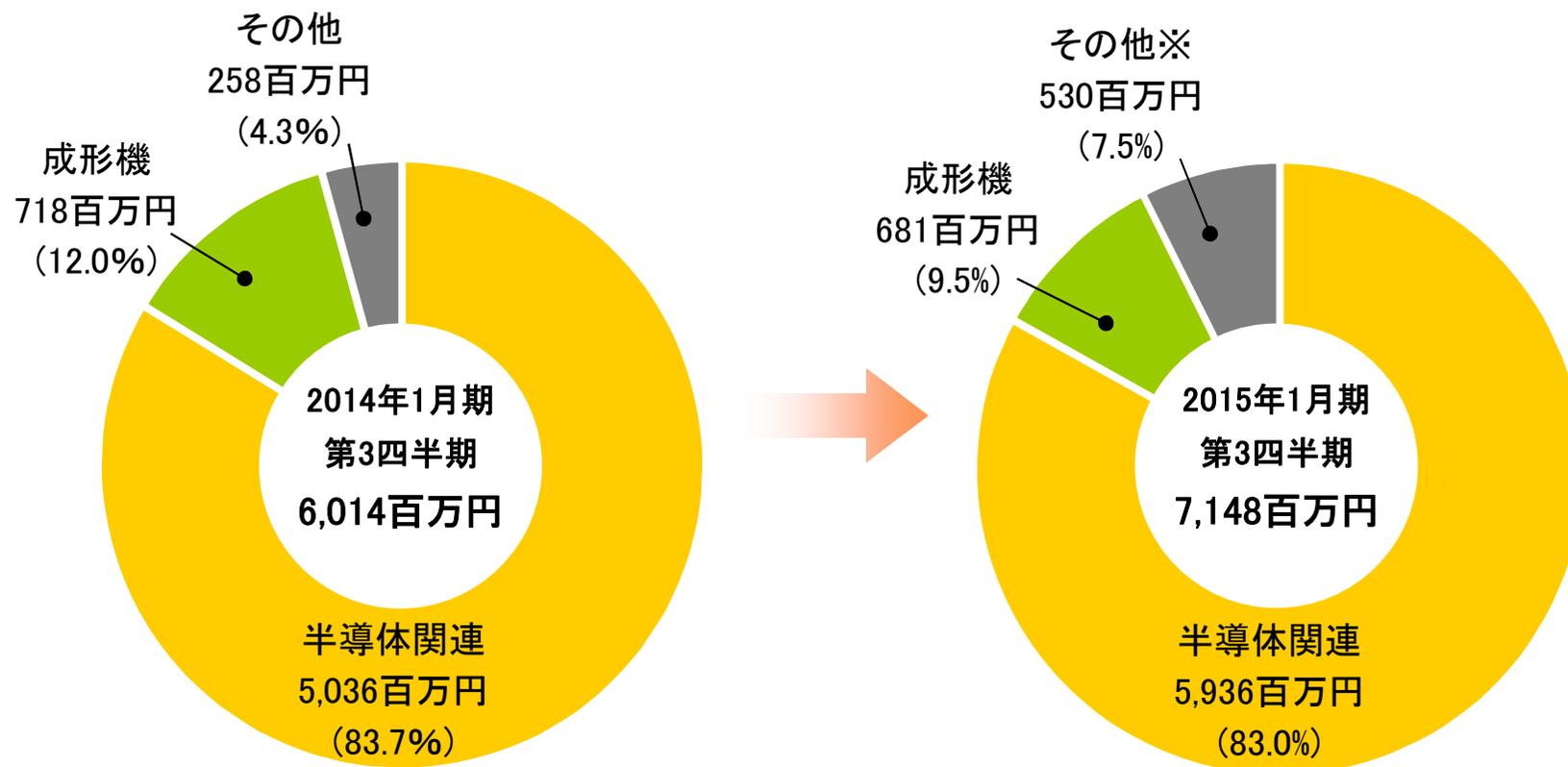
※ 個別の経常利益は、子会社からの配当を含んでおります。

影響額は2014年1月期第3四半期において216百万円、2015年1月期第3四半期において295百万円ですが、連結上は相殺消去しております。



## 2015年1月期 第3四半期決算概要 ～ 2. 事業別売上高の比較

事業別売上高(連結) 対前年同期比



※その他の増加は、2014年1月期第4四半期より株式会社宮本樹脂工業を連結化している影響であります。(影響額225百万円)



# 2015年1月期 第3四半期決算概要

## ～ 3. 業績の概要

### 連結業績

(単位:百万円)

	2014年1月期 第3四半期		2015年1月期 第3四半期	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	6,014	△33.6	7,148	18.9
売上総利益	1,658	△52.8	2,126	28.2
営業利益 (営業利益率:%)	436 (7.3)	△76.6	842 (11.8)	93.0
経常利益	535	△71.9	1,019	90.4
税引前当期純利益	533	△70.6	1,028	92.7
当期純利益	352	△70.4	704	99.6
設備投資	478		286	
減価償却	462		418	
純資産	15,261		15,524	
総資産	18,158		18,930	
自己資本比率:%	84.0		82.0	
1株当たり純資産額	1,670円 11銭		1,727円 17銭	

### 個別業績

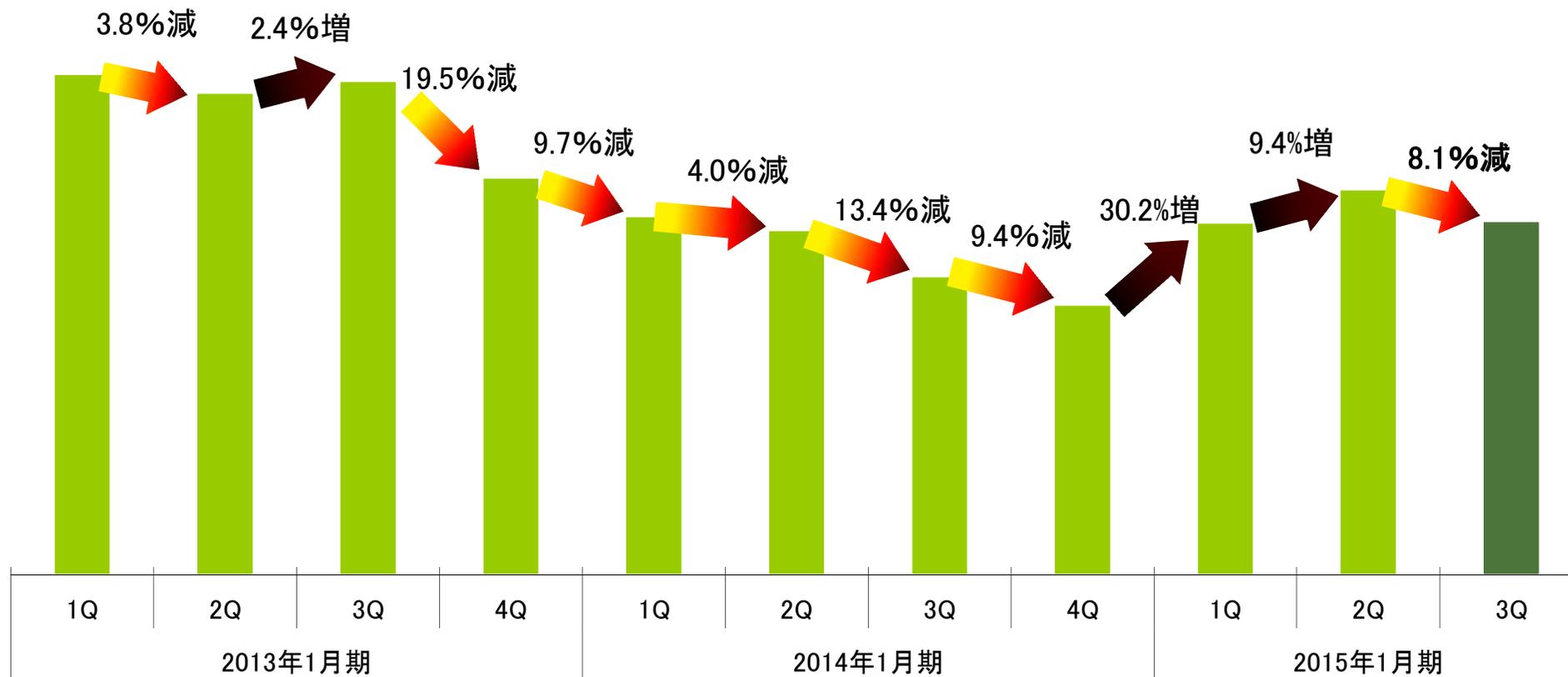
(単位:百万円)

	2014年1月期 第3四半期		2015年1月期 第3四半期	
	金額	前年同期 増減率	金額	前年同期 増減率
売上高	5,295	△33.2	6,241	17.9
売上総利益	1,421	△55.0	1,882	32.4
営業利益 (営業利益率:%)	412 (7.8)	△78.3	822 (13.2)	99.3
経常利益	710	△63.2	1,286	80.9
税引前当期純利益	713	△62.9	1,251	75.4
当期純利益	528	△53.4	879	66.3
設備投資	491		304	
減価償却	449		387	
純資産	15,034		15,360	
総資産	17,359		18,309	
自己資本比率:%	86.6		83.9	
1株当たり純資産額	1,645円 26銭		1,708円 97銭	



# 2015年1月期 第3四半期決算概要 ～ 4. 半導体関連製品事業の業績

## シリコンウエハ出荷容器 売上高の四半期推移

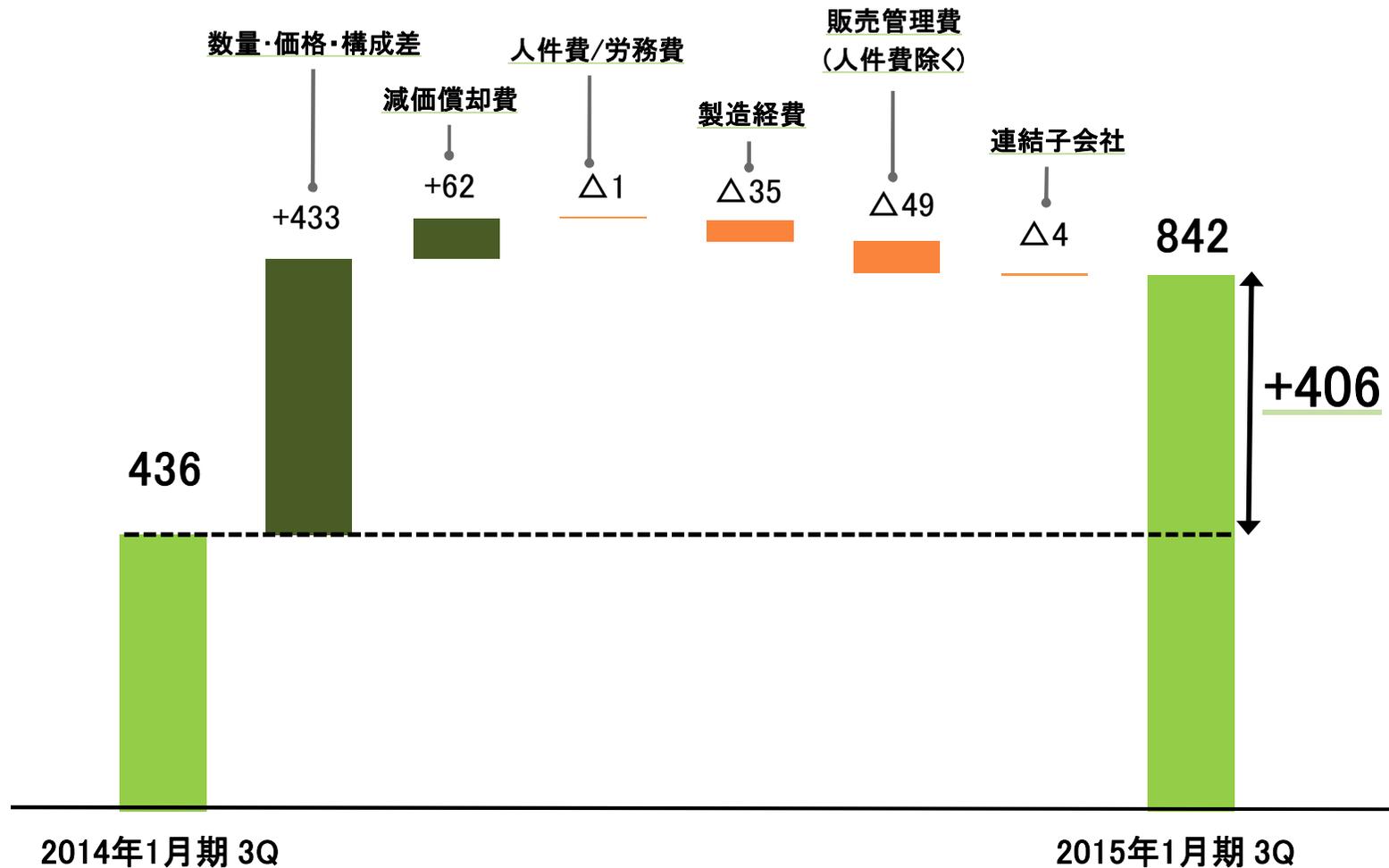




# 2015年1月期 第3四半期決算概要 ～ 5. 営業利益増減要因分析(連結)

営業利益(連結) 対前年同期比

(単位:百万円)



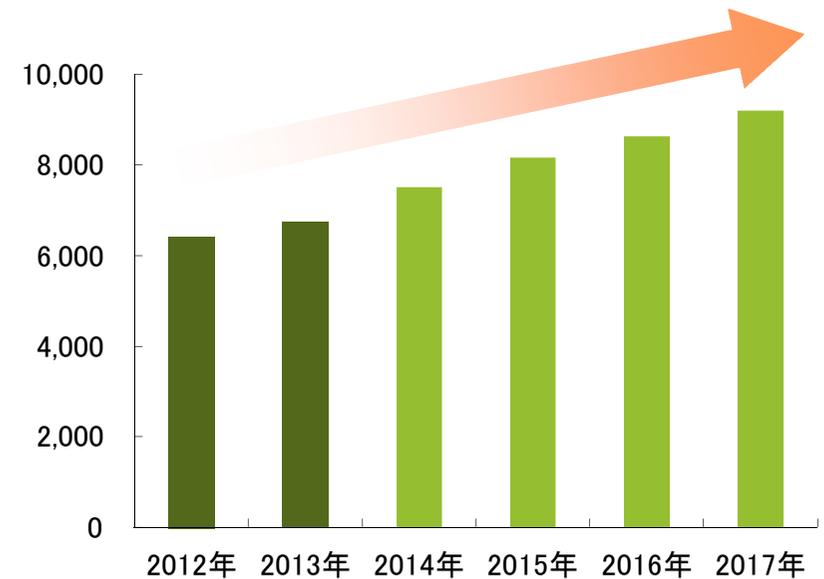


# 2015年1月期業績予想 ～1. 業績予想サマリー～

## 売上高

- 世界全体の半導体市場規模は、景気循環の影響を受けながらも、マクロ的には緩やかな拡大を続けていく見通しです。
- 当社主力製品FOSBによって搬送される300mmウエハはシリコンウエハ市場の牽引役であり、今後も伸長を続けると予想されています。また、小口径ウエハからの移行や、生産用途の拡大等により、一層裾野を広げていく見通しであります。
- 上期業績は、モバイル分野を牽引役としてウエハ市場が活況であった影響もあり、堅調に推移しました。
- 第3四半期は、顧客の生産調整による影響が想定より軽微に留まった結果、前年同期比で堅調に推移しました。
- 第4四半期については、季節性の生産調整による影響は例年比で軽微に留まると予想されるものの、主力製品FOSBのリユース増加が出荷の減速要因になると見ております。

■300mmシリコンウエハ出荷面積予測(100万平方インチ)



出典: 弊社推測

## 営業利益、経常利益

- 当社は品質向上と更なるコスト削減による競争力の強化を図ってまいります。
- グループでのコラボレーションを強化し、新分野展開、更なるコストダウンを実施します。
- 成形機事業では、市場動向を注視し、付加価値の高い特殊機に重点を置き、利益の確保に注力してまいります。



## 2015年1月期業績予想 ～2. 業績予想

### 損益計算書(連結)

(単位:百万円・%)

	2014年1月期 通期累計		2015年1月期			
	金額	前期 増減率	第3四半期累計		通期累計(予想値)	
			金額	前年同期 増減率	金額	前期 増減率
売上高	8,357	△28.0	7,148	18.9	8,850	5.9
営業利益	573	△74.0	842	93.0	610	6.4
経常利益	733	△67.8	1,019	90.4	770	5.0
(当期)純利益	442	△69.0	704	99.6	580	30.9

### 事業別売上高

(単位:百万円・%)

	2014年1月期 通期累計			2015年1月期					
	金額	構成比	前期 増減率	第3四半期累計			通期累計(予想値)		
				金額	構成比	前年同期 増減率	金額	構成比	前期 増減率
プラスチック成形事業	7,198	86.1	△28.1	6,466	90.5	22.1	7,780	87.9	8.1
半導体関連	6,469	77.4	△32.8	5,936	83.0	17.9	7,120	80.4	10.1
その他	729	8.7	86.7	530	7.5	105.0	660	7.5	△9.5
成形機事業	1,158	13.9	△27.5	681	9.5	△5.2	1,070	12.1	△7.7
合計	8,357	100.0	△28.0	7,148	100.0	18.9	8,850	100.0	5.9

■ 今年度の配当金は、1株につき中間配当10円、期末配当10円の年間配当20円を予定しております。



# 経営戦略 ～基本方針

## 1. 現存事業の競争力強化

コスト削減の徹底と  
品質の造り込みにより、  
市場でのポジションを  
維持・向上。

【プラスチック成形事業】			【成形機事業】
工程内容器	出荷容器	樹脂・金属加工	縦型射出成形機
当社コア技術を 応用展開し 新製品開発、 販売チャネル拡大	<u>300mm</u> シェア確保  <u>450mm</u> 市場を注視し覇権獲得	グループ内での 技術連携 による事業拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 柱となる商品確立 ～汎用・LIM・TF + 装置</li> <li>■ 縦型の特長を 活かせる特殊機</li> </ul>

## 2. 新たな収益源の構築

現存事業で培った技術、獲得した資金、  
収集した情報等を活かし、  
新たな収益源となるべき  
新製品開発・新事業構築に取り組む。

新製品開発	新事業
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ グループ内技術の深化</li> <li>■ グループ間連携による新分野開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 現存事業以外のドメイン拡大・多角化</li> <li>■ 内外のリソース活用 【外部】業務提携／M&amp;A等 【内部】自社開発</li> </ul>

## 3. グループ基盤の強化

ミライアルグループが保有する、物的資産、金融資産等の「見える資産」を活用し、  
人材、技術、お客様との信頼関係等の「見えない資産」の強化に鋭意取り組む。



# 本日はありがとうございました

## 「ミライアルの未来」

明日に向かって

## 「未来を見つめ」「未来を考え」「未来を創る」

夢と創造に挑戦

### IR問い合わせ窓口

ミライアル株式会社 経理部

TEL: 03-3986-3782 FAX: 03-3986-3853 E-Mail: investor\_relations-m@miraial.co.jp

#### <将来見通し等に関する注意事項>

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。